

# 県央・共生通信

## 『西横浜に新しい風が立つ』

これが本当に最後  
号外！

### 今回のトピックス

- ・「地域活動ホーム ガッツ・びーと西」に決まるまで
- ・お知らせ

編集・発行元

横浜中部就労支援センター内

西区障害者就労支援型施設準備室

〒220-0023 横浜市西区平沼1-38-3 横浜エムエスビル4F

TEL 045-350-2044 (担当：熊井)

MAIL satomi.kumai@tomoni.or.jp

ホームページ <http://www14.ocn.ne.jp/~nisiyoko/>

2009年3月27日発行

### 『「地域活動ホーム ガッツ・びーと西」に決まるまで』

地活の名称は、一般公募という形で募集し、応募総数40件ほどの中から建設委員会、その中の事業検討部会のみなさんと話し合っ「ガッツ・びーと西」に決定しました。

～『ガッツ・びーと西』の由来～

地域生活支援の継続は元気と根気が要ることです。まして、偏見や差別を覆しうる関係性の構築はいまだ、果てしなく遠い道のりに思われます。

ある意味、その場に集う人達に覚悟を求めるところかも知れません。この道(未知)に踏み入り続けることは大なる勇気が必要です。行き着くところは一人ひとりの志に帰る事でしょう。この意味で「ガッツ」が求められます。

又、生活にはメリハリ・リズムが肝要です。そして、支援にも緩急が大事です。その人に合わせた、時に応じた支援を「びーと」(リズム)という言葉に被せました。

話し合いの中では、「勢いを持つ！」、「エネルギッシュな名称」、「『西』はつけたい」、「個々の頑張りがまだまだ必要」、「社会の中には差別・偏見がまだ存在している」などのご意見や、ある委員の方からは、ついこの間、未だに社会の中で差別・偏見があるという体験をされたという話があり、「差別・偏見を乗り越えて障がいある方々が地域で暮らしていくには、まだ『ガッツ』は必要だね。」という意見がありました。

また、「ガッツ・びーと西」という名称には、カタカナ・ひらがな・漢字といろいろな個性が寄り集まって、地活が形成されていくという意味も含まれています。ロゴマークは、一般公募の中から「へのへのもへじ」に決まり、これまた、それぞれの文字(個性)が集まって1つの顔(地活)が形成されるという意味が込められています。地域の中には、様々な方がいて、様々な個性が集まる場、それが地域活動ホームであるというイメージがそのまま名称・ロゴマークにも表現された形となりました。

そんな皆さんの思いの詰まった「ガッツ・びーと西」で新しい出会いを待っています。皆さん、どうぞ宜しくお願い致します！！

(お知らせ)

6月開所まであと2か月となりました。開所に先駆けまして、「生活 創造 空間 にし」では内覧会を実施いたします。日程は、

5月22日(金)・23日(土) 両日 11:00～16:00

できるだけ多くの方々にご覧いただきたいと思いますので、皆様、ぜひご来館ください！！

今まで県央・共生通信、ご愛読ありがとうございました。

これからも両法人が力を合わせて、頑張っまいりますので、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い致します。